

NPO法人フリースクール札幌自由が丘学園 クラウドファンディング
『経済的理由を乗り越えてフリースクールを利用できるよう「授業料補助」を継続したい』
応援メッセージ No.5



不登校経験者／『不登校新聞』編集長 石井志昂

日本の小中学生は法律によって「学校以外」に学籍を置くことを許されていません。子どもは学校から逃れられないのです。

「フリースクール札幌自由が丘学園」は、自力で「学校以外」の場を札幌の地で作くりだし、多くの子を送り出してきました。

未来の日本では札幌自由が丘学園が当たり前の存在になります。ヨーロッパやアメリカでは「学校以外」の制度があります。子どもは学校しか選べず、学校から逃れられない日本がおかしいのです。

しかし、まだ日本にはその制度がありません。だから札幌自由が丘学園は苦しんでいます。学校以外の場で育つ子は、まず学校や家庭で受けてきた傷を癒す必要があります。そのうえでたくさんのことを学んでいきます。彼らに対しては、子どもを支える職人が必要です。場所も人手も時間もかかる仕事ですが、国からの支援は原則ありません。

くり返しになりますが、それはいま現在の日本がおかしいからで、いずれ変わります。ただし、変わるまでの時間は、未来が見える人で支え合うしかありません。未来が見える人は、学校へ通っていたけれども「苦しかった」という人や「別の選択肢を知りたかった」という人です。

教育の未来へ向けて支援をお願いいたします。